

# 日々、触れることで磨かれる —オーテピア高知図書館の事例—

高知県立図書館 司書 上岡真土



オーテピア高知図書館  
高知県立図書館 / 高知市民図書館本館  
Kochi Prefectural Library and Kochi Municipal Library

# 1 図書館等複合施設「オーテピア」の概要



オーテピア高知図書館  
OTEPIA Kochi Library

2018年7月に開館した、**公立図書館・視覚障害者等情報提供施設・科学館**からなる複合施設  
(所在地：高知県高知市／高知県・高知市共同整備)

## ① 事業目的

- ・ 県市の図書館、科学館、声と点字図書館を合わせた複合的施設とし、それぞれの機能を十分に発揮しながら相互に連携を図ることで様々な人々の交流を深め、高知県内の生涯学習や文化の発展に寄与
- ・ 県市図書館の役割分担を明確にすることで効率的な運営を行い、機能の強化、蔵書及びサービス拡充を図る
- ・ 中心市街地の活性化に寄与（『高知市中心市街地活性化基本計画』に登載）



高知みらい科学館  
Kochi MIRAI Science Center



オーテピア高知図書館  
高知県立図書館／高知市民図書館本館  
Kochi Prefectural Library and Kochi Municipal Library



オーテピア高知声と点字の図書館  
OTEPIA Kochi Talking Book & Braille Library

## ② 来館者数の年間目標 100万人

500万人達成まであと1月



2021年12月7日 来館者300万人達成！



- オーテピア高知図書館  
高知県立図書館と高知市民図書館の共同運営(全国初の取組)
- オーテピア高知声と点字の図書館・高知みらい科学館  
高知市が設置・運営(県は費用負担+運営参画)

## 2 オーテピア高知図書館



オーテピア高知図書館  
OTEPIA Kochi Library

- 全国初となる県市合築・共同運営による図書館
- 令和4年度の個人貸出点数は110万点を超える
- 中四国最大級の延床面積（17,780.72㎡ 中四国2位・全国11位）
- 第2期オーテピア高知図書館サービス計画(令和4年度～8年度)に基づき運営

### 基本理念 ～これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館～

#### ① 「課題解決」や「学び」を強力サポート ～誰でも使える、頼れる高知の情報拠点～

- ・ 県民市民の多様なニーズに応えられる新鮮で幅広い資料の収集・提供（収蔵能力 約205万冊）
  - \* 一般図書は国内年間出版点数の5割以上、雑誌や新聞は2,000タイトル以上を収集目標
- ・ 司書による調べもの案内（レファレンス・サービス）
- ・ 紙×電子媒体のハイブリッド型で情報提供（電子書籍、データベース、歴史資料のデジタル化）
  - \* 全国屈指のデータベース提供数（24種類：医学論文を調べる「医中誌Web」、農業情報「ルーラル電子図書館」など）
  - \* GIGAスクール1人1台タブレットでの高知県電子図書館の利用を進めている
- ・ 市町村立図書館や学校図書室への貸出し



20種類を超えるデータベースが使える専用端末



調べもの案内の様子



転職・転業、資格取得に役立つ「職業ガイドコーナー」(3階)



高知市内小中学校等に貸し出す団体貸出セット

第19回レファレンス協同データベース事業フォーラム  
参加館報告1

### ② 正しい情報を選び取り、よりよく生きるための支援

#### ～司書が情報社会の水先案内人に～

- ・ 図書館の活用方法を身に着けるための講座の開催
- ・ 健康づくりやビジネス、農林業などのテーマ別に資料・情報を探すための手段をまとめた調べものガイドの提供（パスファインダー、ブックリスト）
- ・ 動画やまんがを活用した図書館サービスの紹介

土佐MBA(まるごとビジネスアカデミー)専科での  
図書館活用講座「図書館をビジネスに活かす」



### ③ 専門機関・団体とともに地域の課題にアプローチ

#### ～地域の課題解決のパートナー～

- ・ 専門機関・団体と連携した資料展示による啓発
- ・ チラシや実物展示による情報提供
- ・ 専門機関・団体と連携したセミナーや相談会の開催



パネル展示  
「がん患者の感じるコロナウイルスへの不安について」  
(連携:高知大学医学部附属病院がん相談支援センター)

### ④ 地域のにぎわい創出への貢献

#### ～魅力と活気あふれる高知のランドマーク～

- ・ 商店街主催の「まちゼミ」や「土曜夜市」への参加・出展
- ・ 周辺文化施設との連携による「お城下文化の日」の開催
- ・ 移住希望者に向けた情報発信



帯屋町商店街主催「土曜夜市」への出展



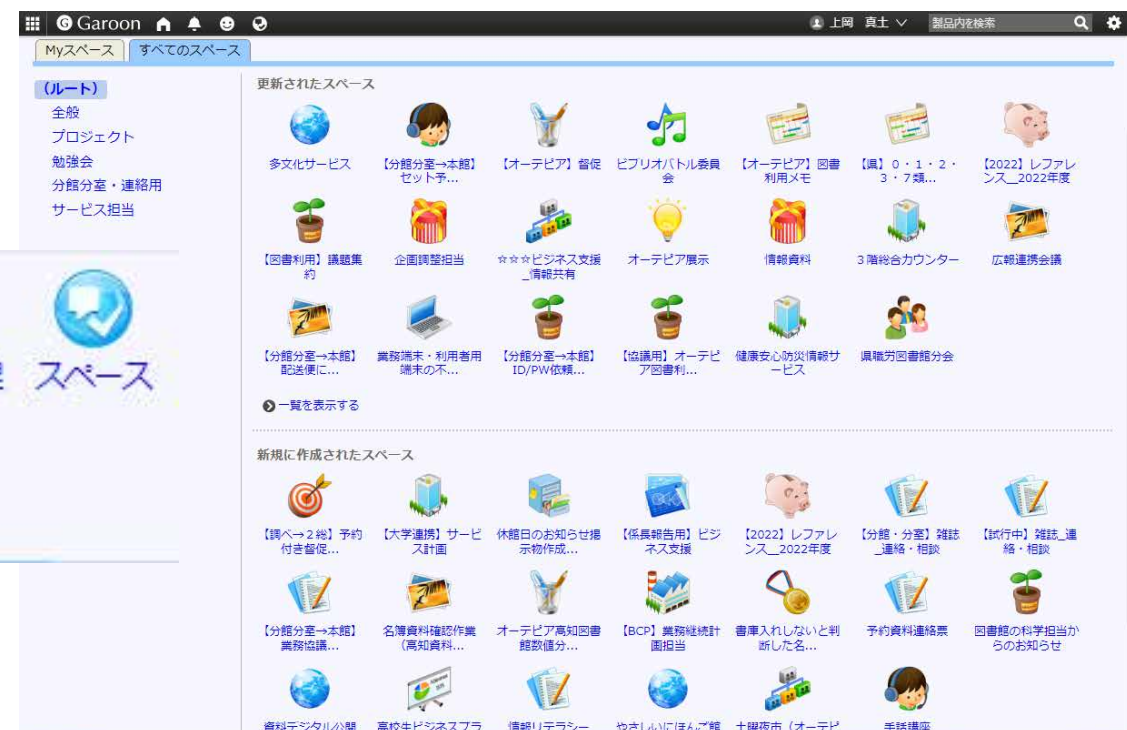
# レファレンスの体制

- 来館、電話、FAX、Webフォームにてレファレンスを受け付け
- 年間約5,200件の事項レファに対応
  - うち、地域関係が約1,000件(2割)、健康・福祉・防災関係が約600件(1割)、ビジネス関係が約850件(1.5割)。所蔵レファは約15,000件に対応。
  - 利用者の居住地等は分析していないが、登録者の9割弱が高知市内のため、ほとんどが高知市内の利用者と考えられる。
- 体制
  - 館内8窓口のうち、5窓口（調べものの案内、健康・安心・防災情報、ビジネス支援、高知資料、こども）と、そのサービス担当が主担当に。
  - 内容はグループウェア(後述)で共有されており、担当司書・職員のほか、窓口以外の司書も適宜調査に加わる体制となっており、内容により概ね1週間以内に回答をおこなっている。
- 分館・分室
  - 高知市民図書館分館・分室でも受付、市民図書館本館としてバックアップ

# 情報共有の基盤

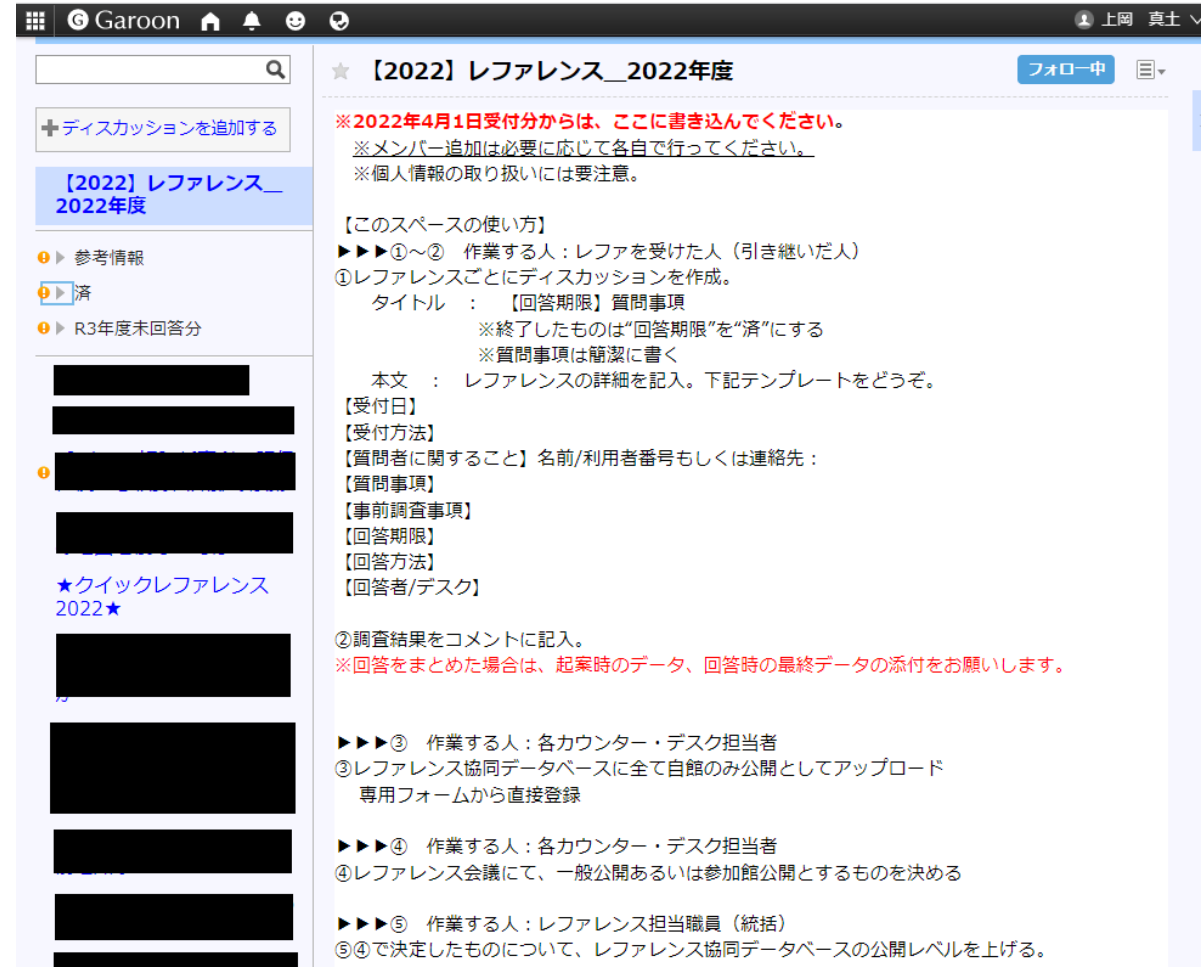
## • 2015年のシステム統合にあわせて、グループウェアを導入

オーテピア完成に先立ち、システム統合。2本館・6分館・15分室・1BM基地をつなぎ、情報のやり取りを円滑に



# 寄ってたかってレファレンス

- レファレンス記録  
紙→グループウェアに  
資料調査結果の共有、Web情報源  
のリンクや文書回答案の添付も容  
易で作業が迅速化  
質問内容が即時共有されるため、  
手の空いている職員が「寄ってた  
かって」調査可能に



★ 【2022】レファレンス\_2022年度

※2022年4月1日受付分からは、ここに書き込んでください。  
※メンバー追加は必要に応じて各自で行ってください。  
※個人情報の取り扱いには要注意。

【このスペースの使い方】

▶▶▶①～② 作業する人：レファを受けた人（引き継いだ人）

①レファレンスごとにディスカッションを作成。  
タイトル：【回答期限】質問事項  
※終了したものは“回答期限”を“済”にする  
※質問事項は簡潔に書く  
本文：レファレンスの詳細を記入。下記テンプレートをどうぞ。

【受付日】  
【受付方法】  
【質問者に関すること】名前/利用者番号もしくは連絡先：  
【質問事項】  
【事前調査事項】  
【回答期限】  
【回答方法】  
【回答者/デスク】

②調査結果をコメントに記入。  
※回答をまとめた場合は、起案時のデータ、回答時の最終データの添付をお願いします。

▶▶▶③ 作業する人：各カウンター・デスク担当者  
③レファレンス協同データベースに全て自館のみ公開としてアップロード  
専用フォームから直接登録

▶▶▶④ 作業する人：各カウンター・デスク担当者  
④レファレンス会議にて、一般公開あるいは参加館公開とするものを決める

▶▶▶⑤ 作業する人：レファレンス担当職員（統括）  
⑤④で決定したものについて、レファレンス協同データベースの公開レベルを上げる。

# レファレンス対応事例

庁内向けレファレンスにも  
力を入れている

県民・市民に図書館のことを  
知って使ってもらうのと同様に、  
庁内でも知って使ってもらうこ  
とが大切。

行政の課題には地域の課題もた  
くさん含まれている。



<事例>  
高知市 高齢者支援課からの依頼

所管施設改築の際に古い机が出て  
きた。古い組み方で作られてい  
るので、展示して紹介したいが、  
年代は分からないだろうか。

銘板には会社名と3ケタ電話番号  
が記載されている。



# レファレンス対応事例

最初は、  
3ケタ電話番号が  
てがかり

3ケタ電話番号  
だったのはいつま  
でか？

(高知市内)

別途、銘板等の写  
真の送付依頼

銘板の写真がくるまでに事前調査

- 「電話」「電話 3桁」などで、ウェブ情報、JapanKnowledge、所蔵資料を探索  
→ Yahoo!知恵袋や、所蔵資料『番号は謎』から、自動交換機導入で4桁に統一。1961年に今の番号桁の仕組みになっているようだ。
- 地元紙の年鑑で調査  
→ 『高知年鑑』  
昭和34年版(1958.9発行)は市内局番+4桁の番号。昭和33年版(1957.9発行)以前は1桁~4桁の番号。  
昭和34年版の出来事欄(1957.8~1958.7)の3/31に「高知電話局自動化成る」との記事あり。  
→ 朝日新聞クロスサーチで1958.3.31の朝日新聞高知版にも記事があり、4月1日付切替との記載。  
→ 1958.3.31までの可能性大

# レファレンス対応事例

銘板の写真が到着



これを手がかりに、さらに調査

- JISマークがある  
→ 1949年工業標準化法制定以降
- 会社名でデジコレ検索  
→ 『産経会社年鑑 第9版』(1970)に沿革等あり  
(昭和27年 通産省指定工場となる)  
→ 『JIS工場名簿』(1955)にも掲載  
事務用家具(机、卓子、いす)  
→ 所蔵資料『JIS規格総目録 1963.3.31現在』で  
規格制定が1951.10.30とあり  
→ 『JIS : industrial standardization 6(1)』で  
1952.10.28-11.20の許可工場の旨で掲載あり  
→ 1952.10.28~1958.3.31までの可能性で回答

# レファレンス対応事例

- 高齢者支援課から銘板の会社へも連絡（別途、問い合わせされていた）社内でももう確認ができない古い話だったので、大変喜ばれた。
- 関わった職員数 計9人  
ビジネス支援の担当を中心に、児童、2階総合、地域資料、調べものの案内、資料、企画調整など各担当職員がグループウェア上で加勢。ウェブ情報資源が増え（国立国会図書館デジタルコレクションの全文検索可能なデジタル化資料増加の影響は大きい）、さらに手伝いやすく。
- いろんな視点で見ることで気づきがある  
それぞれに得意・不得意がある。





## “開館5周年”特集 オーテピア高知図書館の ビジネス支援デスクを 活用して事業計画を作ろう！

オーテピア高知図書館の3Fに「ビジネス支援デスク」があることをご存じですか？

企画書・報告書・会議資料を作るためのデータがほしい、起業するために出店する地域の特徴や事例が知りたいなど、幅広いビジネスシーンにマッチするサービスをたくさん持っているだけでなく、調べ方を丁寧に教えてくれて、入り口部分のナビゲートまでサポートしてくれるため、心強い味方となってくれます。

「ビジネス支援デスク」の利用についてご紹介いたします。

### 調べもの案内(レファレンス)を利用してみました！

01

電話で「調べたいもの」について伝えて、1週間後に3F「ビジネス支援デスク」を訪れるアポを取りました。

今回は試みに、「冷凍シューマイのマーケット」について調べましたが、具体的であるほど、調べやすいそうです。



02

窓口を訪ねると、「関連書籍が7冊みつかりました」との報告を受けました。雑誌もかなりのタイトルがあります。



PICK UP!

#### レファレンス利用のコツ



- ① 1週間くらい前に電話で調べものを相談すること！このひと工夫で充実した調査結果となります。
- ② 本や雑誌、新聞、データベースを活用し、情報のありかや調べ方を教えてくれます！
- ③ 分野ごとに、可書がチームで調査してくれます！(ビジネス・産業・防災・健康・高知に関係すること etc.)

### 開館5周年を記念して、電子書籍の新サービス「KinoDen」がスタート！

タブレットやご自宅のパソコンから24時間無料で電子書籍が読めます！

～閲覧可能コンテンツ数2,200点以上(2023年7月時点)～

#### KinoDenとは？

専門書・一般教養・実用書を中心とする、国産型の電子書籍サービスです。他の人が図書館の本以外はいくつも読むことができます。

- ◆ スマホアプリでも読めます！
- ※ RADER Cloudサービスへの登録とサインインが必要です

#### KinoDenを利用する方法は2つ

- 方法1** <MYライブラリ>からアクセス  
「共通利用カード」とMYライブラリ(インターネット・サービス)パスワードが必要です。
- 方法2** <高知県電子図書館>からアクセス  
高知県電子図書館の利用者IDとパスワードが必要です。



高知県電子図書館の利用登録についてはこちらから  
<https://otepia.kugudo03.htm>

#### オーテピア高知図書館の利用・お問い合わせはこちら

〒780-0842

### 図書館はあなたの仕事の情報源！

今回の利用を通じて、今年開館5周年を迎えたオーテピア高知図書館のサービスの充実ぶりに驚かされることが多くありました。とりわけ、あらゆるビジネスシーンに丁寧に寄り添おうとしているスタッフの姿には感銘を受けました。

現在、国や県の設備投資に係る補助金が充実していることから、補助金申請に向けた「事業計画」を作る機会が増えている事業者も多いので、そうした際にも役に立つと感じました。まずは一度、「ビジネス支援デスク」で「調べもの」にチャレンジしてみてください！



03

資料の説明を受けたのも、データベースを使って市場調査をすることになりました。スタッフが使い方をわかりやすく教えてくれます。今回は5つのデータベースを使って調べてみました。



#### 1. Mpac マーケティング情報パック

市場規模の推移やメーカーシェアはもちろん、「2026年度は441億円」といった将来予測や小粒タイプから大粒タイプへ需要が拡大する傾向が強いなどの今後の市場動向も示されました。

#### 2. マーケットシェア事典オンライン

冷凍食品で検索したら出荷高の推移や企業別シェアが出てきました。

#### 3. 日経テレコン図書館版

POSランキングで検索できます。

#### 4. 新聞

日経新聞や朝日新聞、高知新聞などいろいろな新聞の記事をキーワード検索できます。

#### 5. MieNa(ミーナ)市場情報評価ナビ

出店しようと思う地域の人口や消費購買力などを幅広く調べられます。商圏マップ、商圏基礎データ、業種別人口、年代別人口、消費ランキング、事業所数ランキングなど沢山のデータが自動生成されます。

#### データベースの使い方

PICK UP!

- ① ビジネス支援デスクに行く
- ② 使いたいデータベースを伝える  
(調べたいことを伝えると使いやすいデータベースをお勧めしてくれるからわからなくても安心です！)
- ③ 共通利用カードを提示して申し込む  
(当日のみ時間指定もできます！)  
※なくてもその場ですぐに作れます。  
身分証(運転免許証などの氏名と住所が確認できるもの)をお忘れなく！
- ④ データベースを利用する  
※印刷もできます(有料:白黒10円・カラー30円)  
1回の利用時間は1時間です  
(次の利用者がいなければ延長できます)



オーテピア高知図書館  
OTEPiA Kochi Library

## 企業向けにも レファレンス 利用を広報

# へんしも情報誌

組合等活性化情報誌

10  
2023 vol.270

- Contents
- 1 おらんの組合(四万十市商業協同組合)
  - 2 組合会計セミナーのご案内
  - 3 ものづくり担い手育成講座のご案内(食糧材料の確保・不採算)
  - 4 県とベトナム・ラオスとの人材交流・交流継続までの軌跡
  - 5 オーテピア高知図書館のレファレンス支援デスク活動の紹介
  - 6 高知県からのお知らせ
  - 7 10月は「おん」と向き合う月です！  
- 県民合同労働組合を応援します
  - 8 高知労働局からののお知らせ  
- 労務相談が実施されます
  - 9 協会けんぽからののお知らせ  
- 生活習慣病予防検診の自己負担額について
  - 10 組合いんふおめーしょん
  - 11 地域おこし協力隊レポート(4月号)
  - 12 県内企業界動向(2023年8月)
  - 13 県内企業界動向(2023年8月)
- 人を繋ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会  
URL <https://www.koiz.or.jp> E-mail [info@koiz.or.jp](mailto:info@koiz.or.jp)



## 組合等活性化情報誌「へんしも情報」2023.10 発行: 高知県中小企業団体中央会

# 館内外の職員研修の実施について

- 県立図書館として  
「市町村立図書館への支援」の中で研修事業として説明
- 自館職員に対して
  - 自館研修事業の受講
  - 館外研修等の受講
    - ・ 国立国会図書館 各レファレンス研修 / 日本図書館協会 中堅職員ス  
テツプアップ研修 / 日本医学図書館協会 JMLAコア研修 / ビジネス支  
援図書館推進協議会 ビジネス・ライブラリアン講習会 などを受講
    - ・ 事後には受講報告の館内発表を行い、受講内容を共有
  - 勉強会の実施  
地域資料についての有志勉強会の開催 後述



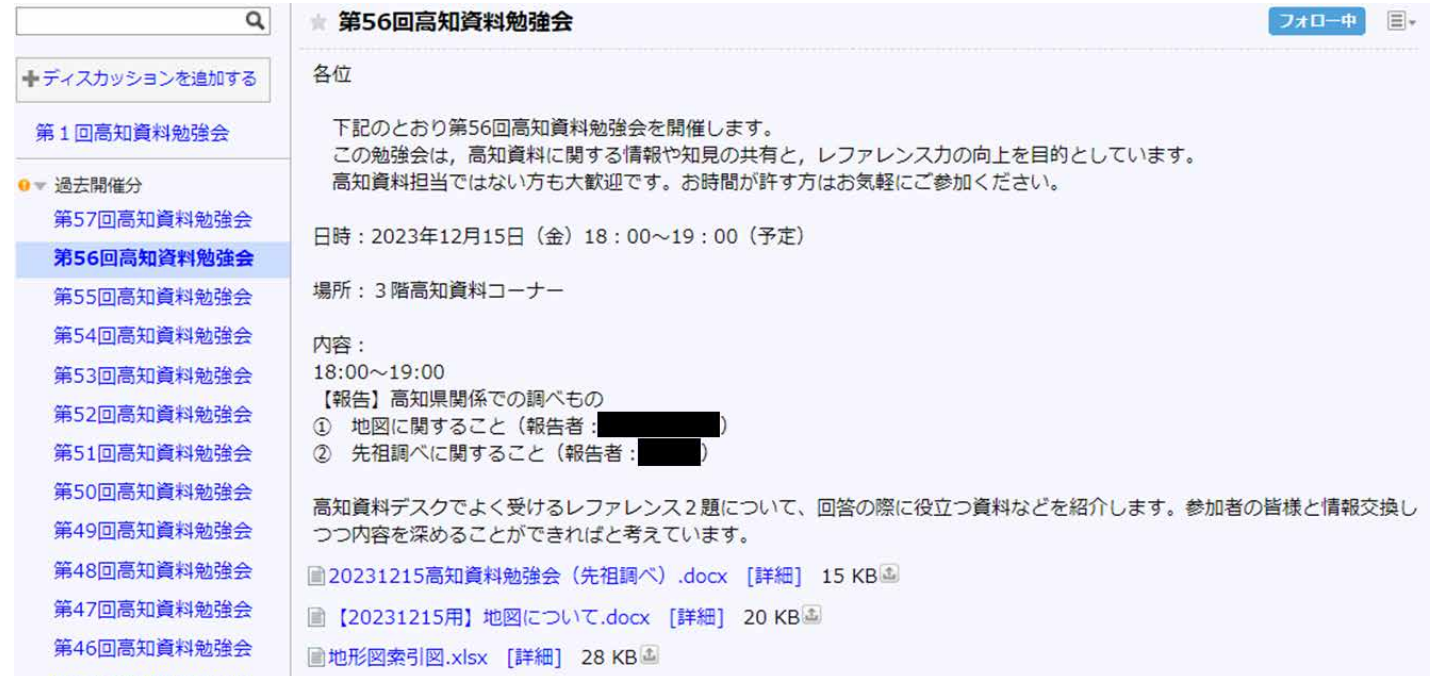
# ノウハウの共有・継承の取組み

- グループウェアを用いたレファレンス内容の共有  
→窓口担当司書・職員だけでなく、窓口以外の司書も（電話応対等のため）内容を把握。各職員のノウハウが自然に共有されていく。

- 地域資料については有志の勉強会を開催→

## 【課題】

- 体系化・文書化がなされていない。
- 評価、改善の取組が十分でない。



The screenshot shows a web page for the 56th OTEPIA Kochi Library Study Group. The page is in Japanese and includes the following information:

- 第56回高知資料勉強会** (56th OTEPIA Kochi Library Study Group)
- 各位** (Dear all)
- 下記のとおり第56回高知資料勉強会を開催します。この勉強会は、高知資料に関する情報や知見の共有と、レファレンス力の向上を目的としています。高知資料担当ではない方も大歓迎です。お時間が許す方はお気軽にご参加ください。
- 日時**：2023年12月15日（金）18：00～19：00（予定）
- 場所**：3階高知資料コーナー
- 内容**：18:00～19:00  
【報告】高知県関係での調べもの  
① 地図に関すること（報告者：[redacted]）  
② 先祖調べに関すること（報告者：[redacted]）
- 高知資料デスクでよく受けるレファレンス2題について、回答の際に役立つ資料などを紹介します。参加者の皆様と情報交換しつつ内容を深めることができればと考えています。
- 20231215高知資料勉強会（先祖調べ）.docx [詳細] 15 KB
- 【20231215用】地図について.docx [詳細] 20 KB
- 地形図索引図.xlsx [詳細] 28 KB

# 市町村立図書館への支援

- 市町村立図書館におけるレファレンスサービスの状況・課題
  - 年間受付件数が100件未満の館が40%を超える。（公共図書館調査2023）
  - 蔵書やレファレンスツールの不足、司書が少ないことによるサービスへの理解不足、PR不足など、図書館側の要因も大きい。
- レファレンス支援の取組
  - 主に「研修」と「協レファレンス」の2本立て
  - 「図書館に聞いてみようか」と住民に思ってもらえる環境づくりのサポート

## ■ 協力レファレンス

- ・ 児童書や地域関係の問い合わせが主だが...

[今年度の事例から]

- ・ 甲状腺疾患に関する分かりやすく新しい資料はないか
- ・ 技能実習生が日本語と土佐弁を勉強できる資料はないか

## ■ 研修事業

- ・ 図書館サービス研修（年5回程度実施）
- ・ どこでも研修（職員派遣型 受講者1名から対応）
- ・ ブロック別研修会（県内3ブロックで前後期開催【協会事業】）



R5ブロック別研修会（前期）  
「デジタル環境下で広がる図書館の情報資源」

## ■ サービス創出のための土台づくり

～ 娯楽的施設から「情報提供機関」へのイメージ転換～

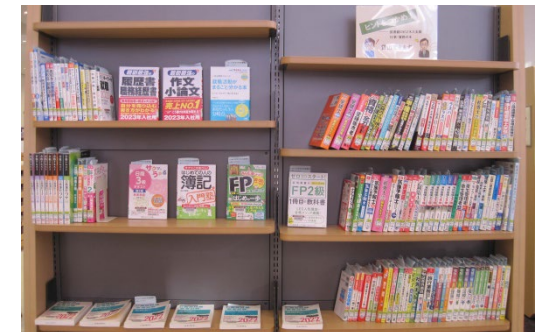
### ● 担当司書による市町村訪問

- ・ まずは何でも相談できる関係づくり
- ・ 各市町村の地域性や図書館の方針も踏まえた提案

### ● 協力貸出

- ・ 健康、空き家問題、外国人との共生等、地域課題に関連する図書のセットを積極的に作成・提供
- ・ 意欲的な館には長期貸出等による支援も実施

→ 他市町村のサービスモデル化を目指す



土佐市立市民図書館  
学びなおし・資格取得コーナー  
3年間の長期貸出